

令和6年度各区自治協提案事業一覧表

参考資料 1

区	事業名等	事業概要等	弾力的運用
北 区 (計 2,400千円)	めざせ防災力向上！Ⅱ (800千円)	区民一人ひとりが、防災について関心や意識を持つきっかけをつくり、防災活動への理解を深めるためにさらに充実した取組みを行い、地域全体の防災力向上を目指します。 ※「北区防災かるた」を作成するために、絵札と読み札を募集	
	ボランティアはじめの一歩 (800千円)	定年退職後の人や地域活動に興味はあるが一步を踏み出せない人が活動を始められるように後押しするとともに、幅広い世代がボランティア活動に関心を持つような社会貢献意識の醸成を行います。また、地域活動の担い手を育て、活動そのものの継続・発展を図ります。 ※講演会、ワークショップを開催	
	北区 魅力発信事業 (800千円)	区民等が北区の自然・食・文化等の魅力に触れ、理解を深める企画を実施し、区の魅力の発信・交流人口の拡大を図ります。 ※福島潟文化祭でトークセッション「潟の食文化を語る」を開催予定 その他、潟料理や食材の試食など	
東 区 (計 3,000千円)	区自治協議会提案事業 (3,000千円)	区自治協議会委員で構成する専門部会において、令和5年度に実施した「東区民意識調査」の結果を踏まえつつ、各分野における身近な課題を洗い出し、地域の課題解決や活性化につながる取組を提案・実施していきます。令和6年度は各部会において「防災」「こども食堂」「エリア紹介」をテーマとする取組を実施します。	
中央区 (計 2,000千円)	区自治協議会提案事業 (2,000千円)	区自治協議会が地域の課題解決や活性化につながる取組を提案し、深掘り調査や効果検証するためのモデル事業などを実施します。自治協委員で構成する専門部会において、各分野における身近な課題を洗い出し、取組テーマを決め、課題解決を図っていきます。 ○第1部会：SNSを活用して古町・本町エリアの食の魅力を発信する「にいがた推しメシプロジェクト」を実施。 ○第2部会：能登半島地震を受けてコミ協・施設管理者へのアンケートを実施。講演会等を開催予定。 ○第3部会：鳥屋野潟の活用イメージ図を作成。公開フォーラムを開催予定。 ○第4部会：若い世代をターゲットに中央区の食文化や歴史を認知してもらうきっかけとなるよう、学生と連携して区内老舗を取材し、紹介リーフレットを発行予定。	
江南区 (計 5,000千円)	江南区魅力発掘・発信プロジェクト (1,000千円)	区内への来訪者増加、関係・交流人口の拡大に向けて、地域の魅力を掘り起こし、発信するなど、まちの活性化につながる取組を実施します。	
	多世代交流“みらい”プロジェクト (1,000千円)	子どもから高齢者まで、多世代が交流する事業を検討・実践することで、コミュニティの維持・向上と、暮らしやすい“みらい”の地域づくりにつなげます。	
	誰でも安心して安全に暮らせるまちづくりプロジェクト (1,000千円)	すべての人々が安心して暮らせるよう、防犯、防災、交通安全、福祉などの分野での啓発活動を通じ、安心安全・防災意識の向上を図ります。	
	地域課題解決サポートプロジェクト (2,000千円)	地域の課題解決やコミュニティの維持・向上につながる地域主体の取組を支援します。 連携団体：区内地域コミュニティ協議会	○

区	事業名等	事業概要等	弾力的運用
秋葉区 (計 6,130千円)	きらめき未来プロジェクト (3,400千円)	「きらめく」秋葉区に向けて、地域の様々な課題の解決につながる事業を区内の団体から募集して、区自治協議会が協働しながら、地域の人材を発掘し、継続的に取組が進められるよう支援していきます。また、コミュニティ未来ビジョンで策定したアクションプランの事業化を募集し、その実現に向けて支援していきます。 連携団体:区内地域コミュニティ協議会	○
	生活交通の検討と防災講座 (800千円)	秋葉区の公共交通が抱える課題を把握するため、アンケート調査を行い、問題を解決するための方策の検討や他地区の事例を研究します。また、激甚化する自然災害から身を守るための防災講演会の開催と中越地震被災地の視察研修を行うことで防災への備えを考えるきっかけとします。	
	Akihaおとな大学 (370千円)	秋葉区の特徴や史跡・旧跡、魅力ある歴史を学んでもらうことで地域への愛着や興味関心をさらに高めるとともに、学びを次世代に引き継ぐ、未来につながる主体的な学びの機会とします。	
	コミュニティFMを活用した自治協議会PR事業 (800千円)	コミュニティFMを活用し、自治協議会の活動やかかわ版「あきはくはつものがたり」のPRを行います。	
	秋葉区ひな・お宝めぐり (760千円)	秋葉区の新春行事として区民協働による「つるし飾り」を区内事業所や保育園、幼稚園、小中高校などから制作協力いただき、区内のコミュニティセンターや公共施設などで展示します。区内はもとより区外からの人の流れを生み出し、各コミュニティ協議会や商店街、地域の活性化に繋げていきます。 連携団体:区内地域コミュニティ協議会	○
南区 (計 5,500千円)	防災意識啓発事業 (550千円)	防災意識の醸成を目的に、自治協議会主催のイベント「南区味わい市場」において防災関連ブースを出展し、啓発に向けた活動を実施します。	
	きれいなまち美南区クリーンアップ月間事業 (450千円)	区民の美化意識の醸成を目的に、10月に強化月間を設けて、南区全体で清掃活動を実施します。	
	南区家族ふれ愛事業 (550千円)	家族を大切にすることを醸成することを目的に、11月に「家族ふれ愛」をテーマとした絵画・川柳展を開催します。	
	夏休みの宿題サポート事業 (450千円)	世代間交流の場の創出と子育て家庭の負担軽減を目的に、地域人材を活かして7月下旬の夏休みに子どもたちの学習サポートを実施します。	
	南区おいしいもの満載お宝探訪事業 (450千円)	南区の食の魅力発信と六斎市の賑わい創出を目的に、南区の農産物や地域の商店の飲食物が並ぶ「南区味わい市場」を六斎市に合わせて9月に開催します。	
	産業・伝統・味覚 南区3セットツアー事業 (550千円)	南区の魅力発信と交流人口の拡大を目的に、区内の企業や文化施設への見学・訪問と、旬な農作物などが味わえる日帰りバスツアーを10月に実施します。	
	南区まちづくり活動サポート事業 (2,500千円)	南区のまちづくりや活性化を目的に、南区の地域活動団体等を対象に4団体の提案事業を採択し、事業の実施を支援します。 連携団体:区内地域コミュニティ協議会等	○

区	事業名等	事業概要等	弾力的運用
西 区 (計 3,600千円)	防犯事業 (600千円)	各種犯罪被害防止に向けて活動を行います。 ・防犯講演会の開催(11.16開催) ・越後線各駅で近隣の高校の生徒会と協働し、自転車盗難防止のキャンペーンを実施(7～10月) ・警察と連名のポイ捨て防止看板の作成し、西区各自治会、町内会、コミ協などに配布	
	支え合いの大切さ普及事業 (600千円)	・支え合いの大切さを広めるきっかけとして、あいさつ運動を実施します。 ・また、地域の団体や事業者へ、のぼりや広報媒体を配布したり、運動への協力を呼び掛けたりして区内での水平展開を目指しています。 →地域の連携団体：区内のコミュ協・自治会・小中学校など →連携事業者：(株)イオンリテール[予定]	○
	西区の魅力発掘事業 (600千円)	西区を好きになって住み続けてもらえるよう、西区の様々な魅力を広く周知する活動を実施します。 ・「第2回 私の西区自慢 写真大募集」(フォトコンテスト)の実施 ・西区の魅力を体感するバスツアーの実施(フォトコンテスト参加を促す撮影会も兼ねる) ・交通に関する勉強会の実施(検討中)	
	地域の防災力向上事業 (400千円)	地域の防災力の向上に向けて、抱えている課題などを明らかにし、解決方法を検討します。 ・防災ワークショップの開催(予定)	
	西区アートフェスティバル (1,400千円)	①踊りやパフォーマンスで西区を元気づけること ②アート活動に取り組んでいる団体等に発表の場を提供すること ③大学などと連携して学術・文化豊かな西区の魅力を発信することを目標に、西区で活動する踊りを中心としたアート活動団体の発表や西区に関わるアート作品の展示を行う。	
西蒲区 (計 3,000千円)	防災意識の高い、活力あるまちづくり (1,000千円)	防災や教育、スポーツなど複数の分野が一堂に会するイベントを開催することで、「観光とスポーツ・レクリエーションのまち」「人の和でつながる安心・安全なあたたかいまち」を目指します。 ※R6は「減災」に関する事業を実施予定 ※その他、3部会合同イベントを開催予定 【学びと体験でつながろう にしかんライフフェス田(た)】 <概要> 日時:令和6年10月19日(土)10時～15時 会場:城山運動公園 内容:各部会の所管する分野のテーマに応じた「学べる・体験できる」ブースを設置し、西蒲区の生活に関するフェスとして3部会で合同開催するイベント。	
	支え合いと助け合いの気持ちにあふれるまちづくり (1,000千円)	支え合い・助け合う心を育成するための啓発事業などを行い、「人の和でつながる安心・安全なあたたかいまち」を目指します。 ※R6は支え合いの大切さについて、考えてもらうきっかけを作る事業を実施予定	
	地域の交流を促進し、人と人があたたかにつながるまちづくり (1,000千円)	各地域で行われているイベントへの参加や協力を通じて、様々な地域への理解と交流を深められる仕組みづくりを行うことで、「人が行き交い、にぎわいと活力があふれるまち」を目指します。 【にしかん応援隊(ボランティア制度)】 <概要> 地域のイベントにおけるスタッフの人手不足の解消と地域内外の更なる交流促進に向けて制度設計し、R6スタート。 コミ協が応援隊を募集→市HP、LINE、区Facebookで周知→市民がそれを見て、ボランティアに行きたいイベントへ申し込み(直接コミ協へ申し込み) ※R6は当制度のPRに関する事業を実施予定	